

〈前期・中期の古墳〉

○古墳の種類

- ・前方後円墳、前方後方墳、円墳、方墳など
- ・大規模な古墳はいずれも前方後円墳

○埴輪

- ・墳丘上に並べる。
- ・前・中期の埴輪

【1】 …円筒形の埴輪、
家形埴輪…形象埴輪の1種

器財埴輪…武器、衣類、道具といった器財を表す。形象埴輪の1種。

下の写真右から2番目のものは、弓矢を入れる道具である鞆(ゆき)をあらわす。

※形象埴輪…人物・動物・人工物などを表したもの。

人物埴輪や動物埴輪は古墳時代後期に出現。



○古墳の埋葬施設と副葬品

- ・埋葬施設

【2】 式石室…前・中期に見られる。追葬不可。

※後期になると横穴式石室

【3】 …棺を粘土で覆ったもの。

- ・副葬品

農工具、腕輪、祭器、銅鏡、【4】 (右端の写真)など

☆【5】 的・【6】 的の性格が強い。

※後期になると武器や馬具が多くなる。

→武人的性格を示す。

○主な前・中期古墳

前期

- ・【7】古墳(奈良県)…卑弥呼の墓という説も。出現期のものでは最大規模。

中期

☆大規模な古墳が増加する。近畿地方に存在する大規模なものはヤマト政権の大王の墓と考えられる。

巨大古墳は地方にも波及しており、ヤマト政権の影響力が広がっていることを示している。

- ・【8】古墳(大阪府)…最大の規模を持つ。百舌鳥(もず)古墳群を構成。仁徳天皇陵。2019年に世界文化遺産に登録。
- ・【9】古墳(大阪府)…第2位の規模を持つ。古市古墳群を構成。応神天皇陵。
- ・造山古墳(岡山県)…吉備地方に強大な政治権力が存在したことと、その勢力がヤマト政権と連合政権を形成していたことを示す。

確認問題 1-10

- 問1 古墳の墳丘上に並べられることが多い、素焼の土製品は何か。 ()
- 問2 埴輪のうち、筒状の単純な器形のを何というか。 ()
- 問3 古墳時代前～中期に見られる、遺体や副葬品を安置した古墳内部の部屋の形式はどのようなものか。 ()
- 問4 古墳で、直接棺を埋めて周囲を厚く粘土でおおったものを何というか。 ()
- 問5 前期古墳の副葬品は、被葬者のどのような性格を示しているか。 ()
- 問6 大阪府にある最大規模の古墳であり、仁徳天皇とされているのは何か。 ()
- 問7 大阪府にある国内2位の規模を持つ古墳であり、応神天皇陵されているのは何か。 ()

発展問題 1-10

- 問1 埴輪のうち、人物・動物・人工物などをかたどったものを何というか。 ()
- 問2 前期古墳の主な副葬品の1つであり、邪馬台国論争の重要な遺物ともなっている、緑の断面形が三角形をなしている神獸鏡を何というか。 ()
- 問3 古墳時代中期の前方後円墳で、その規模の大きさは、吉備地方の首長の勢力の大きさを示しているともいえる、岡山県にある古墳を何というか。 ()
- 問4 大阪湾に面した台地上にある古墳時代中期の大規模古墳群で、大仙陵古墳を含んでいるものを何というか。 ()
- 問5 現在の大阪府羽曳野市と藤井寺市にまたがる大規模古墳群で、誉田御廟山古墳を含んでいるものを何というか。 ()